

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
ブリーダーズゴールドカップ	2019/8/15	JpnIII	門別	2000m	ミドルペース	良	能力比較

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ソーディスイズラヴ	牝5	55	吉原	バトルブラン	ミスプロ系	フジキセキ	サンデー系	D	A	D	D	D	D		
2	2	ラインカーリーナ	牝3	55	武藤	パイロ	ナスルーラ系	アラムシャー	ノーザン系	B	C	B	B	B	B	△1	
3	3	クイーンマンボ	牝5	57	Mデムーロ	マンハッタンカフェ	サンデー系	シンボリクリスエス	ロベルト系	B	B	B	B	B	C	△2	
4	4	アルティマウェポン	牝6	55	井上	ヨハネスブルグ	ノーザン系	アグネスタキオン	サンデー系	C	B	B	C	C	C		
5	5	ゴッドバイレーツ	牝5	55	落合	ベークバド	ノーザン系	コマンダーインチーフ	ノーザン系	D	C	D	D	D	D		
6	6	プリンシアコメータ	牝6	57	岩田	スパイクユール	サンデー系	アジュディケーティング	ノーザン系	A	B	B	A	A	B	◎	
	7	ザワールド	牝4	55	井上	シルボート	ノーザン系	Malibu Moon	ナスルーラ系	D	C	D	D	D	D		
7	8	クオリティスタート	牝5	55	桑村	ダノンシャンティ	サンデー系	Fly Till Dawn	ハンプトン系	C	A	C	C	C	C		
	9	ビスカリア	牝7	56	森	ヴァーミリアン	ミスプロ系	Gilded Time	ダマスカス系	A	A	B	B	B	B	▲	
8	10	ジュンアイノキミ	牝5	55	石川優	セイントアレックス	ミスプロ系	カリズマティック	ノーザン系	D	B	C	D	D	D		
	11	アンデスクイーン	牝5	55	戸崎	タートルボウル	ノーザン系	キングカメハメハ	ミスプロ系	A	B	B	B	B	B	○	

隊列図	見解	ラップタイム
ライン プリン ビスカ クイ アンデ クオリ アルテ ザワー ゴッド ジュン ソーデ	<p>昨今の牝馬限定のダートグレードといえば、とにかく波乱が多いのが特徴のひとつ。今年に入ってから行われた牝馬限定のダートグレード（古馬重賞のみ）を振り返ってみると、4レースのうち3レースで3連単万馬券決着（うち2レースは3連単10万以上の配当）。唯一、堅かったマリーンカップはオウケンビリーヴの除外で7頭立てになってしまい（事実上の4頭立て）、波乱の余地が全くないレースだった。未だに主役馬不在の牝馬限定のダートグレード路線。果たしてブリーダーズゴールドカップも波乱の結末が待っているのだろうか。早速、予想にいきましょう。</p> <p>本命は軸としてプリンシアコメータが信頼できるはず。とにかくスムーズな先行策さえ打てれば、大崩れしない馬。これまで牝馬限定のダートグレードでは4コーナー2番手以内【3.3.0.0】、3番手以下【0.0.0.3】と明暗がハッキリしており、ここはラインカーリーナを行かしての2番手が濃厚なので、本馬が力を出しやすいレースになるだろう。（以下省略）</p>	<p>回顧</p> <p>次走狙い馬</p>

ミドルペース

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ソーディスイズラヴ		地元の牝馬限定重賞でも掲示板入りが難しい現状。ダートグレードでは荷が重い。		
2	2	ラインカリーナ	△1	古馬相手にどこまで走れるか未知数も、フリーダースゴールドカップが牝馬限定のダートグレードに変わって3歳馬の勝利はまだない。2年前には単勝1倍台まで支持された3歳のクインマンボが2着に敗れており、本馬は他馬に目標になることを考えても勝ち切りはなかなかハードルが高いはず。		
3	3	クインマンボ	△2	フリーダースゴールドカップは17年1番人気2着、18年1番人気3着と2年連続で3着以内に好走しているが、ともに1番人気を裏切ったの結果。近走は走る気を失くしたような淡泊な走りが続いており、念のため押さえるものの、消しに近い押さえという評価に留めたい。		
4	4	アルティマウェボン		ダートグレードでも好走歴（18年レディスプレリユード3着）があるので、一概に侮れないものの、今年のフリーダースゴールドカップはJRA勢のレベルが総じて高い。展開がドハマリしない限り、上位進出は難しいのでは。前走ノースクイーンカップの敗戦も気になる。		
5	5	ゴッドパイレーツ		前走A3の昇級戦で8頭立ての7着と完敗。ダートグレードでは参加するだけで終わるだろう。		
6	6	プリンシアコメータ	◎	とにかくスムーズな先行策さえ打てれば、大崩れしない馬。これまで牝馬限定のダートグレードでは4コーナー2番手以内【3.3.0.0】、3番手以下【0.0.0.3】と明暗がハッキリしており、ここはラインカリーナを行かしての2番手が濃厚なので、本馬が力を出しやすいレースになるだろう。		
	7	ザワールド		2走前のノースクイーンカップでは12頭立ての10着と大敗。ダートグレードでは荷が重過ぎる。		
7	8	クオリティストार्ट		昨年のフリーダースゴールドカップ8着時よりも力をつけているが、前走ノースクイーンカップではクイジーアクセル、アップトゥユーに完敗しており、ダートグレードで通用する器ではないだろう。		
	9	ビスカリア	▲	3走前のTCK女王盃はアドバンテージの大きい1枠1番からロスのない立ち回りで、上手く行き過ぎた面はあったが、続くエンプレス杯でも3着を確保しており、牝馬限定のダートグレードなら能力上位と見てよさそう。森騎手とのコンビに戻るのも大きく、ここも堅実に走ってくるのではないかと。		
8	10	ジュンアイノキミ		フリーダースゴールドカップは3年連続の出走で、17年5着、18年11着。17年はマイティティエーが逃げ切るレベルの低いレースだった。今年は明らかにメンバーレベルが高く、掲示板入りさえ難しいだろう。		
	11	アンデスクイーン	○	近走はオープン特別で惜敗が続いているものの、3走前のプリリアントステークスでは2着プリンシアコメータから0.2秒差の4着に健闘。直線で前が塞がって進路を変更するロスがあったことを考えると、スムーズならもっと際どい争いだった。		